

《《《《《 春の叙勲 》》》》》

喜びの受章者

瑞宝双光章

堀江 洋三氏

道警察医会会長



1989年から道警の嘱託医を務め、30年の節目に晴の受章となった。死体検案は、診療中に呼び出されることも数多く、「いち早く対応できるようにやり繰りするが大変だった」という。

現場に行くと、人定でないケースも珍しくない。体温、硬直、家の状況、生

活環境、過去の病歴など、時間との戦いの中で、多角的にデータを収集し、「誤診をしないことを常に意識しながら、対応に当たってきた」と振り返る。

道警察医会を道警5方面本部と合わせるなど、動きやすいように、さまざま改革に着手。会則や規定を新たにづくり、会報も発行

連携強化へ改革推進

するなど、「47都道府県で一番整備された警察医会」と自負する。地域格差をなくすため、研修会やアンケートを行い、質の向上にも努めてきた。

北大卒業後、遠軽、富良野、深川などの公的病院に勤務。85年に厚別区で堀江外科を開業した。「患者の気持ちが一と二倍分かる」地域のホームドクターとして、在宅医療にも取り組んだ。

現在は札幌ひばりが丘病院名誉顧問、道医師国保組合常務理事も務め、400曲を超える歌を作った音楽家としても知られる。

小樽市出身。75歳。